

6/23/97

# 占う憲法の行方

82議席獲得で

# 改憲勢力

の所見と、野党で改善に前向きな日本維新的会、国民党などとの「改善勢力」が、国会審議の要件「総議員の三分の一以上」を維持するかどうかが焦点だ。今回争われる計百一十五議席のうち、八十二議席の獲得が必要となる。

自衛隊明記など党改憲案四項目を明記。岸田文雄首相は、ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナウイルス禍を受け、緊急時の国会議員任期の特例延長などを認め、「緊急事態条項」などの論議を推進する構えだ。

自民の茂木敏充幹事長は「選舉後できるだけ早いタ

参院選「改憲勢力」で3分の2を超えるライン



議席のうち、改憲勢力が八十一議席を獲得すれば、三分の一を確保できる。

昨秋の衆院選では自公に加え、維新や国民などが議席を伸ばし、衆院で改憲勢力が三分の一を超える。その結果、通常国会で衆院の憲法審査会は、過去最多の開催回数となつた。

参院選で与党が過半数を維持した場合、首相にとって、衆院を解散しない限り、「一〇一五年参院選まで大型の国政選挙がない」「資金の三年」となる。首相が自らの政策課題に取り組み

する可能性もあるが、立憲民主党の泉健太代表は「今憲法を変えねば我が國が頗る壊する決定的な問題はない」と慎重な姿勢を示す。参院定数は今回から二議席増えて二四八となり、三分の一は百六十六議席。非改選の改憲勢力の四党と、自民を離党中の橋本聖子氏を合わせると八十四議席

やすい環境から  
早稲田大の愛敬浩二教授  
(憲法)は「九条が変われ

与党56 / 野党63

勝敗ライン

四、比例代表五〇））と改選の神奈川選舉区の欠一を補つ「合併選舉」をさせた計田十五議席をもたらす。自民党は岸田文雄首（総裁）が勝敗ラインを非改選を含めて与党で過半数となる五十六議席に決定。立憲民主党的泉健太表は「野党による改選過半数（六十二議席）」とした。

ば、従来の專守防衛の考え方の方は根本的に変わり、法的な歯止めは無くなってしまふ」と参院選後の拙速な改憲論議を懸念。「單に憲法の条文を変えるかじつがでない、それが國民の生命や財産を守る上で良いか悪いかを具体的に考へるべきだ」と指摘した。

